



Vol. 13

うそ



紙ひこうき

児童書リスト

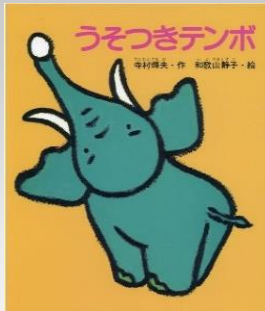


一宮市立子ども文化広場図書館

～ 子ども読書のまち いちのみや ～

2023年4月

【初級】おはなしを読みはじめたみなさんへ



うそつきテンボ

初級

寺村輝夫／作 和歌山静子／絵
金の星社

うそつきで、いたずらずきのぞうのテンボには、ともだちがありません。テンボはとてもさみしいのです。だちょうのたまごをみみのおくであたためて、あかちゃんをそだてようとかんがえます。ところがテンボがねむると、みみのおくのたまごが、もごもごうごきだして・・・。



タヌキの土居くん

初級

富安陽子／作 大島妙子／画
福音館書店

三年生のはじめての朝、アカネちゃんが登校すると、土居くんの席にタヌキが！「ぼくだよ！土居くんだよ！今学期の目標は`なかよく、元気に、しょうじきに！`」だから、正直にタヌキのまんま登校することにした」それから学校中がおおさわぎに。



マシュマロおばけ

初級

ブリシラ&オットー・フリードリック／文 ルイス・スロボドキン／絵 小宮由／訳
瑞雲舎

ハロウィンのよる、おばけの子どもたちがこっそりマシュマロを食べたら、なんと、すがたをけせなくなってしまう。これでは人間をこわがらせることができません。おばけたちは、人間の子どものふりをして、ハロウィンの町へあそびに行くことにしたのですが・・・。

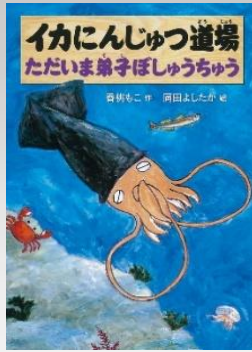


おじょうさま小学生 はなこ② VS にがてなてつぼう

初級

川之上英子・川之上健／作絵
岩崎書店

おじょうさま小学生のはなこは、いまだかつてないピンチをむかえている。さかあがりができないはなこは、あしたの体育ではじをかいしてしまう。学校をやすんでしまいたいが、きゅうしょくは、だいすきな「あげぱん」。こうなったら、かんがえられる手はアレしかない。



イカにんじゅつ道場

初級

香桃もこ／作 岡田よしたか／絵
福音館書店

にんじゅつをきわめたイカが、「イカにんじゅつ道場」をひらく。「にんじゅつをまなび、カニをたらふくたべたい」とやってきたキスを弟子にする。さっそく くもがくれのじゅつ のけいこをはじめるが……。いいかげんだが、にくめないイカのにんじゃのおはなし。

【中級】少し長いおはなしにチャレンジしたいみなさんへ



ジジのエジプト旅行

中級

ラッセル・オスファテール／作 ダニエル遠藤みのり／訳 風川恭子／絵
文研出版

ジジは夏休みに家族旅行へ行けないのに、エジプトへ行くとうそをついてしまった。休み明け、みんなの前で発表することになり困っているジジに、いつもケンカしてばかりのモーから、ある計画をもちかけられる。さて2人が考えたとんでもない計画とは？



ぼくらのウソテレビ

中級

ねじめ正一／作 武田美穂／画
くもん出版

今とちがってテレビががとても貴重だったときの話。鎌田はほんとうにイヤなやつだ。いつもぼくたちに金持ちを見せつける。その鎌田がほしがっているテレビ。「うち、テレビあるよ」ぼくは、つい大きなウソをいってしまった。ウソが気づかせてくれた友情のものがたり。



おてんばヨリーとひげおじさん

中級

アニー・M・G・シュミット／作 フィーブ・ヴェステンドルフ／絵 西村由美／訳
岩波書店

新しい特急列車のおひろめの日、車掌のひげおじさんは大はりきり。ところが出発直前、小さな女の子ヨリーから、列車の下に動物がいると言われ見てみると、たくさんのハリネズミが！なんとか救出し出発できると思ったら、そのうち1つが爆弾だったから大さわぎに。

中級



ラビットホッピング！うさぎがぼくのパートナー！？

マーリン・エリクソン／作 きただいえりこ／訳 森山標子／絵
理論社

妹の入院で、遠くはなれたおじいちゃんの家にあずけられたアルヴィン。ママを悲しませたくなくて、楽しいとウソをつく。だれもぼくのウソに気がつかない。そんな時、うさぎのブリーダーのイルラとホッピング競技をめざしているうさぎに出会い、心を通わせていく。

中級



アーマのうそ

キャロル・ライリー・プリנק／作 谷口由美子／訳 堀川理万子／絵
文溪堂

アーマは、世界一大きな人形を持っていると、思わずうそをついてしまった。そのうそは、どんどんふくらんで、自分の手に負えなくなってしまう。そしてその人形を学校の収穫祭に展示することが決まって…。このピンチを切り抜けるには、どうしたらいいのだろう。

【上級】深く考えて読んでみたいみなさんへ

上級

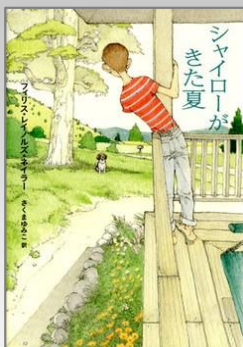


金曜日のヤマアラシ

夢内明子／著 中田いくみ／装画
アリス館

ウタのクラスに転校してきた桐林 敏。いつもイライラ トゲトゲして、まるでヤマアラシみたい。なぞが多い彼だが、次第にウタにだけは心を開きはじめる。そしてウタも、誰にも言えなかったあの事をもう一度見つめ直すきっかけになっていく。

上級



シャイローがきた夏

フィリス・レイノルズ・ネイラー／著 さくまゆみこ／訳 岡本順／画
あすなろ書房

マーティは、飼い主からひどい目にあっている子犬をかくまうことにした。シャイローと名付けてかわいがっていたが、他人の子犬を勝手に飼うことはゆるされない。家族や友人にウソをつかなくてはならなかった。そしてそのウソを隠すために、またウソを重ねてしまう。